

校訓 質実剛健



一、大空をのぞき、北原の上をのぞき、東郷の山をのぞき、工業の道を行く。集まれば、北原の山をのぞき、東郷の山をのぞき、工業の道を行く。集まれば、北原の山をのぞき、東郷の山をのぞき、工業の道を行く。

二、厚く見ると、利便の用み。目にふくと、利便の用み。目にふくと、利便の用み。目にふくと、利便の用み。

三、紅顔の光を、家のぎらぎらと、治めたい。上をのぞき、北原の上をのぞき、東郷の山をのぞき、工業の道を行く。集まれば、北原の山をのぞき、東郷の山をのぞき、工業の道を行く。

盛岡工業高等学校校歌
土井耕作 作詞
山田耕策 作曲

本校のあゆみ

- 1898年(明治31年) 盛岡市内丸に岩手県実業学校創立、金工科・木工科設置
- 1904年(明治37年) 岩手県立工業学校と改称、機械科・建築科に科名変更
- 1938年(昭和13年) 盛岡市上田に校舎移転
- 1939年(昭和14年) 岩手県立盛岡工業学校と改称
- 1948年(昭和23年) 岩手県立盛岡工業高等学校と改称
- 1949年(昭和24年) 岩手県立高松高等学校と改称、普通科新設(昭和38年廃止)
- 1953年(昭和28年) 岩手県立盛岡工業高等学校と改称
- 1955年(昭和30年) 定時制課程を新設(機械科、昭和38年電気科)
- 1970年(昭和45年) 都南村(現盛岡市)羽場に校舎移転
- 1998年(平成10年) 創立100周年式典挙行
- 2008年(平成20年) 建築・デザイン科新設
- 2018年(平成30年) 創立120周年式典挙行

教育方針

真理と正義を愛し、自主的精神と知性に満ち、工業に関する基礎的な知識・技能・態度に習熟した将来有為な技術者の養成を期する。この目標達成のため、次の綱領を定める。

- 科学性と創造性の陶冶
- 勤労精神と責任感の高揚
- 敬愛と互助精神の涵養

Mプロジェクト(Moriko Mirai Project)
「轟け大空に! 繋げ未来へ! 築け新たな伝統を!」
～3つの「C」の獲得を目指して～



学科の紹介

Introduction of subject

機械科

Machine
1898年設置 定員40名



産業の基盤をなしてきた機械技術は自動化や省力化が図られ、今では品質の優れた機械部品を作り上げるのはもちろんのこと、機械を制御するための知識を幅広く学ぶことが不可欠となっています。そのため「ものづくり」を中心に、これらの幅広い機械技術・知識・技能の学習をします。

土木科

Civil
1923年設置 定員40名

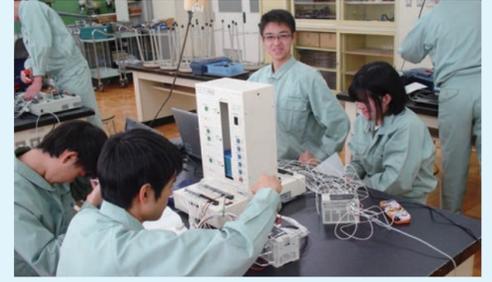


土木とは、私たちの生活に不可欠である、道路、鉄道、港湾や空港、ダムなどの社会基盤を、地球環境との調和を考慮して整備していく技術です。測量、コンクリート、土、水、構造、力学などを幅広く学び、構造物の設計や施工技術を総合的に身につけます。また土木技術者として不可欠な測量士・土補や2級土木施工管理技術検定の資格も取得可能です。進路先は建設会社の他、公務員、大学進学等です。

多くの選択肢の中から自分に合った進路を選び、役立つ職業資格の取得も可能。

電子機械科

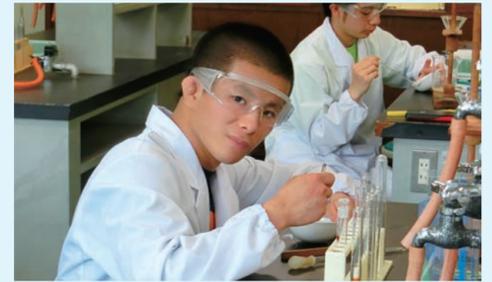
Mechanical Electronics
1989年設置 定員40名



電子機械科はFAに対応できる技術者を目標としてメカトロニクス技術を学習します。産業用ロボットや自動工作機械(マシニングセンタ等)に代表されるように、機械・電子・情報に関する技術が融合したメカトロニクス(技術分野)の発達により、工場では生産工程の自動化(FA:ファクトリーオートメーション)が導入されています

工業化学科

Chemistry
1937年設置 定員40名



石油製品、合成繊維・ゴム、プラスチック、医薬・化粧品、農薬・肥料、接着剤、塗料・インキ、洗剤・洗浄剤、食品・飲料、ガラス・セラミックス、電子材料などは化学工業の技術でつくられています。また、地球の環境汚染を防止するためにも工業化学の知識は必要とされています。このように各分野で役立つ基礎基本を幅広く学びます。県内唯一の学科です。卒業時には、毒物劇物取扱責任者の資格が得られます。

電気科

Electric
1959年設置 定員40名



電気を発生し各家庭に届けるまで(発電・変電・送電・配電)のしくみや取り扱い、また電気を様々な形(光・熱・モーターなど)で利用するための知識や技術を実習などを交えて幅広く学習します。そして、専門教科や実習で身に付けた知識や技術を活かして、在学中に電気工士や電気工事施工管理技術検定といった資格取得も目指します。

建築・デザイン科

Architecture・Design
2008年設置 定員40名



建築・デザイン科では、建築に関する総合的な知識と技術を兼ね備えた建築技術者の育成を目標とし、建築計画・構造・施工を軸に建築学の基礎から幅広く学習します。建築技術者として必要な二級建築施工管理技術検定(学科)を在学中に受験します。また、卒業後すぐに二級建築士および木造建築士の受験が可能となります。

電子情報科

Electronics&Information
2003年設置 定員40名



私たちの生活になくてはならないものとなったパソコン、インターネット、携帯電話などの高度情報化社会を支える技術を基礎から学習します。本科では、半導体や電子回路について学習する「電子技術(エレクトロニクス)」、コンピュータの仕組み(ハードウェア)やC言語によるプログラミング(ソフトウェア)について学習する「情報技術」、電話や電波の伝送について学習する「通信技術」の3分野について幅広く基礎から学習します。資格については、第二種電気工事士、工事担任者試験(第二級デジタル通信)、ITパスポートなど電気・電子・情報・通信の幅広い資格を取得できます。

定時制・工業科

Industrial
1994年設置 定員40名



すべての産業の基礎となる生産技術の機械加工や電気工事等の専門知識と技術・技能について総合的に学習します。働きながら学ぶことに誇りを持ち社会に貢献し、自己を磨きながら4年卒業と3年卒業コースの選択が可能です。